

平成 25 年度「ふくしまの未来を担う高校生海外研修支援事業」実施報告書

県立郡山高等学校

実施期間・参加人数・滞在都市・現地交流校について

実施期間 平成 25 年 7 月 20 日 (土) ~ 8 月 2 日 (金) (14 日間)

参加人数 英語学科 1 学年生徒 37 名

滞在都市 オーストラリアクイーンズランド州ブリズベン

現地交流校 ホワイトヒルズ・カレッジ



実施概要について

7 月 23 日 (火) 午前中の英語の授業の後、現地校 White's Hills State College に移動し交流を行う (2 日間)。

7 月 29 日 (月) クイーンズランド大学研修。ソーラーパワーに関する語彙を学ぶ授業を受けた後、今回福島県の助成金の事業に対応して設定したエクスカーションの一環として、ブリズベン市内のクイーンズランドユニバーシティー (UQ) にて、ソーラーエネルギーによる発電施設見学とキャンパスツアーを実施した。

福島の現状発信や現地におけるエネルギー学習について

東日本大震災についての福島について、代表生徒 1 名が震災当日の衝撃のことから現在の風評被害に福島が苦しんでいること、また福島の将来に向けての前向きな姿勢を、これから福島を背負う若者としてスピーチをした。現地の生徒のほとんどはこれまでに地震を経験したことがなく、このスピーチの後に、現地校の先生から地震の恐ろしさについての説明があった。自分たちの環境では経験することのない状況に、生徒たちも真剣に聞き入っていた。

現地でのエネルギー学習については、屋内の電圧や周波数を変換するインバータの説明を受けた後、階段を移動して屋上のパネルの見学を行った。屋上には 100 枚近くの太陽光集積パネルが設置され、毎時 280 KW のエネルギーを生産しているとのことであった。

実施後の反省について

研修ではこのように発電の研究現場を見学するほか、ローンパインコアラ保護区を訪問するなど、オーストラリアの豊かな自然環境と特殊な生態系にふれる経験をすることができた。